

2012年度大学入試センター試験 解説〈倫理, 政治・経済〉

第1問 源流思想 (配点 18)

問1 正解は①。

- ① ソクラテスは自身の問答法を「産婆術(助産術)」とも呼んでおり、相手に真理を教え込むのではなく、対話のなかで相手自身に矛盾や無知を自覚させるという手法をとっている。
- ②③④ ソクラテスは「無知の知」の立場、つまり自分が「善に関する真理」に関して無知であるとの立場に立っているため、知者として無知な相手を「知へ誘う」ことや「教授」することはありえないし、自身の「優れた考え」を通して相手に無知を自覚させようとしたわけでもない。

問2 正解は①。

- ① 誓願(本願)とは、阿弥陀仏が立てた一切の衆生を救うという誓いのことで、48あるので四十八願とも言う。南無阿弥陀仏の6字の「名号」を唱える者はみな極楽浄土に往生させるという誓いは、第十八願にあたる。また、阿弥陀仏の本願が説かれている経典は『無量寿経』、阿弥陀仏のことを無量寿仏(限りなき寿命をもつ仏)とも呼ぶ。
- ② 「唱題」とは、南無妙法蓮華経と題目を唱え、法華経に対する帰依の意を表すこと。
- ③ 「真言」とは、密教において宇宙の根本仏とされる大日如来の言葉のこと。また、『法華経』も誤り。
- ④ 「ひたむきに坐禅にはげむ」とは、道元が説いた只管打坐のこと。また、『法華経』も誤り。

問3 正解は①。

- ① 竜樹(ナーガールジュナ)は大乗仏教の理論形成に大きな役割を果たした人物で、ブッダの説いた「無我」の思想を継承して「空の思想」を大成した。
- ② 大乗仏教の基本的な考え方である「一切衆生悉有仏性」についての説明になっている。
- ③ 世親(ヴァスバンドウ)は大乗仏教の唯識思想を大成した人物だが、ウパニシャッド哲学についての説明になっている。
- ④ ジャイナ教は仏教とほぼ同時代に形成され、仏教と同じくバラモンの権威を否定する宗教だが、唯識思想についての記述になっている。

問 4 正解は③。

- ア 朱子に関する記述。理気二元論の世界観および居敬窮理の修養法についての説明になっている。
- イ 墨子に関する記述。儒家が近親者に対する自然な愛を重んじたのに対し、墨家を開いた墨子はこれを差別的であるとして否定し、差別のない兼愛を説き、これが平和の基礎であるとした。
- ウ 老子に関する記述。儒家が秩序の維持のために様々な徳目を涵養すべきことを説いたのに対し、道家の祖である老子は人間のありのままの姿に立ち戻るべきだとして無為自然を説いた。
- エ 韓非子に関する記述。法家を代表する韓非子は、師である荀子の礼治主義を受け継ぎつつ、より実効的な統治を求めて、徳による統治を否定し、信賞必罰を旨とする法治主義の立場を打ち立てた。

問 5 正解は④。

- ④ クルアーンにおいては第 2 の戒律、モーセの十戒においては第 5 の戒律で両親を敬うべきことが説かれ、またクルアーンでは第 2 ～ 8 が、モーセの十戒では第 5 ～ 10 が社会的な掟と考えられる。
- ① ユダヤ教ではモーセの十戒の第 2 で偶像崇拜が禁じられている。
- ② イスラム教の神は超越的、絶対的な唯一神である。クルアーンにおける第 1 の戒律でも、神に並び立つものがありえないとされている。
- ③ モーセの十戒の第 4 では安息日が定められているが、これは「人間の健康と福祉」のためにあるのではなく、神の世界創造に感謝し祈るためである。

問 6 正解は③。

「和」を重んじる日本の伝統的な共同体では、カミ（神）や他の成員に対して偽ることのない明るく朗らかな心（清き明き心）をもつことが望ましいとされてきた。①赤心か③黒心かで迷うところだが、「腹黒い」といった慣用表現を思い浮かべれば③を選べるだろう。なお、「赤」は「赤裸々」などと言うように、隠し立てのないことを意味する。

問 7 正解は③。

- ③ 最終段落にまとめられている趣旨と合致する。「外からの働きかけ」に関しては、第 3 段落で様々な思想家が重視してきたことが述べられている。
- ① 「生まれながらの悪なる本性から自由になる」のではなく、自己を正しく認識することで、自己を律することの重要性が理解できると述べられている。また「自己の外に目を向け」ることが否定されているが、これは第 3 段落の記述と矛盾する。
- ② 「自らの悪に過度に思い煩わされる」べきでないとされるが、最終段落では「自己のあり方を真剣に見つめ、悪を引き起こす無知や欲望の存在を自覚すること」が重要だと強調されている。また「悪が何であるかは文化ごとに異なる」といった趣旨はリード文に一切ない。
- ④ 社会的な規律に従うことの是非を「批判的に検討」すべきだとされるが、第 3 段落ではむしろこうした規律が「自分を内から見つめ直す契機」になりうるものとして肯定的に言及されている。

第 2 問 西洋近代思想 (配点 18)

問 1 正解は⑦。

改正臓器移植法に関する問題である。2009 年の主な改正点は、(1) 脳死を一律に「人の死」とみなす (一部異論もある)、(2) 脳死した本人の拒否の意思表示がない場合、家族の承認によって臓器移植が行える、(3) 15 歳未満の者の臓器提供を認める、の 3 点である。

- ア 14 歳であるので改正後に初めて認められた。C に該当する。
- イ 15 歳であるので改正前から認められていた。A に該当する。
- ウ 本人の拒否の意思表示がある場合は、改正後も臓器提供は認められていない。B に該当する。

問 2 正解は④。

- ④ デカルトの主著『方法序説』の冒頭に出てくる有名な句である。人間理性 (= 良識) への信頼を表明した言葉であり、思想の領域における人権宣言とも言われる。
- ① イギリス経験論の祖であるベーコンの言葉である。
- ② 大陸合理論の展開においてデカルトを批判したスピノザの言葉である。神のつくったこの世界においては人間の自由意志も偶然もいっさい存在しないとして、神のつくった世界をその必然性において捉えることをこの言葉で言い表した。
- ③ フランスのモラリストであるパスカルが著した『パンセ』のなかの言葉で、人間の卑小さを言い表している。

問 3 10 正解は③。

- ③ 常識的には、まず認識されるべき対象が存在し、人間の認識とはそれを正確に捉えることだと考えられているが、カントは人間の認識能力が認識されるべき対象を能動的に構成するものと考えた。これをカントにおけるコペルニクスの転回という。
- ① イギリス経験論の哲学者ロックの立場。ロックは経験によらない生得観念をいっさい認めず、生まれたばかりの人間の心をタブラ・ラサ（＝白紙）と呼んだ。
- ② デカルトをはじめとした大陸合理論の考え方。カントは、経験論も合理論も一面的だとして、両者を統合する独自の認識論を構築した。
- ④ ヘーゲルの弁証法についての記述。

問 4 11 正解は④。

- ④ フッサールはハイデッガーの師であり、現代哲学の源流の一つである現象学を創始した哲学者。常識的な世界像を受け入れる自然的態度をとるのではなく、判断停止（エポケー）のうえ意識に現れる世界をありのままに記述する現象学をとらえた。
- ① サルトルの立場。サルトルもフッサールの現象学の研究から出発している。
- ② イギリス経験論の哲学者バークリーの思想的立場。
- ③ 20 世紀前半のイギリスで活躍した哲学者ウィトゲンシュタインの『論理哲学論考』の有名な一節。ウィトゲンシュタインは 20 世紀の英米哲学に絶大な影響を与えている。

問 5 12 正解は②。

- ② 「他の人を支配する」ことの是非については資料文で言及されていないが、みずからの労働の成果に対する所有権は是認されているので、生産手段の所有についても否定はされていないものとみなせる。他の選択肢は正しい記述なので、②が適当でない記述だと判断できる。
- ① 資料文 7-8 行目の「少なくとも……場合には」の条件と対応する。
- ③ 資料文 1-3 行目の記述と対応する。
- ④ 資料文 1-2 行目の記述と対応する。

問 6 13 正解は②。

- ② 循環型社会とは、限りある資源を有効活用することで自然界への廃棄量の最小化を目指す社会のこと。石油など化石燃料の枯渇性エネルギーから太陽光・風力など再生可能エネルギーへの転換や、3 R（リサイクル・リユース・リデュース）の取組みなどが求められる。
- ① 環境アセスメントについての説明を利用した作文。

- ③ 世代間倫理についての説明を利用した作文。
- ④ 「地球規模で考え、足元から行動する」の意味の説明を利用した作文。

問7 14 正解は②。

- ② 第4段落で、デカルト的発想は、主観と客観の二項的対立図式についてはハイデッガーから、心身二元論についてはメルロ＝ポンティから批判されたとある。まとめの第5段落でも身体が人間にとって本質的要素であることが示されている。
- ① 「生命なき身体」と「生きた身体」という対比はなされていない。
- ③ 「物質的身体」と「非物質的な心」という対比はデカルトによって定式化されたものであり、リード文ではまさにその限界が指摘されている。
- ④ 身体が「世界と相互作用する主観的存在である」とされているが、これは主観と客観を分離したうえで相互作用が起こるとの立場による記述である。リード文第4段落では「身体は主体であるとともに客体でもある」と言われており、こうした主客二元論の克服が主張されている。

第3問 青年期・現代社会分野 (配点 14)

問1 15 正解は①。

- ① かつての伝統的な共同体では、成人・結婚といった人生の節目において**通過儀礼**（イニシエーション）を行うことで、大人社会の仲間入りを認められた。むしろ自我同一性の確立に関わるものであり、「自我同一性の拡散を表す語句」として適当でない。
- ② 自意識が過剰になると、周囲の他者との折り合いが不安定になり、自我同一性の拡散（危機）の状況に陥る。
- ③ 自己を肯定的に受け入れられないのであるから、自我同一性の拡散（危機）の状況と言える。
- ④ **モラトリアム人間**とは、心理学者の小此木啓吾が、人生の選択を避けて猶予期間にとどまる青年を指して言った言葉。自我同一性が確立されていない状況である。
- ⑤ **ピーターパン・シンドローム**とは、アメリカの心理学者カイリーが、大人への成長を拒んでいるかのような男性を指して言った言葉。依存的であり、自我同一性が確立されているとは言えない。

問 2 16 正解は③。

- ③ シュプランガーはドイツの心理学者・哲学者。その人が人生において追求する価値によって、選択肢文にある通りの6つの性格類型に分けた。
- ① アメリカの社会学者リースマンは著書『孤独な群衆』において、現代社会では他人指向型が支配的であると指摘した。よって「ほとんど見られなくなった」は誤り。
- ② 確かにドイツの精神医学者クレッチマーは性格と体型の関連を指摘したが、やせ型を分裂気質、肥満型を循環気質としており、後半の記述は誤っている。また、リビドー（心的なエネルギー）の向かう方向性によって内向型・外向型に分類したのは、スイスの心理学者ユングである。
- ④ アメリカの心理学者オルポートは、成熟した人格の特徴として選択肢文に挙げられた要素に加えて、「現実世界を直視し、問題を解決していく知覚と技能」の6つを指摘した。なお、ビッグファイブ理論とはオルポートの研究を受け継いだゴールドバーグらが提唱した性格特性論だが、教科書での扱いはない。

問 3 17 正解は①。

- ① 「勤皇」の語がヒントとなっている。松下村塾を開いて高杉晋作・伊藤博文らを育てた吉田松陰は、幕府・諸藩の枠組みをこえて民衆が天下万民の主君である天皇の下に結集すべきことを説いた。
- ② 「孔子」「愛」「忠信」などの語から、伊藤仁斎の思想についての記述とわかる。
- ③ 「万人が直接に農業に携わる自給自足の生活に復帰すべき」との文言から、安藤昌益の思想についての記述とわかる。
- ④ 「分に応じた儉約」「天地や他者の恩恵に報いなければならない」などの文言から、二宮尊徳の思想（報徳思想）についての記述とわかる。

問 4 18 正解は④。

- ④ 明治時代を代表する啓蒙思想家である福沢諭吉が、「東洋になきもの」として指摘したのが、a「独立心」（他人や政府に依存しない自立した精神）とb「数理学」（合理的で実生活に役立つ西洋の諸科学）の2つである。
- ① a「独立自尊」は「独立心」の別の言い方として正しいが、b「民主主義」は大正デモクラシー期の政治学者である吉野作造の造語。
- ② a「東洋道徳」は、幕末の思想家である佐久間象山が説いた言葉「東洋道徳、西洋芸術」の一部。b「実学」は「数理学」の別の言い方として正しい。
- ③ a「忠孝心」は、戦前における教育の基本原則を示した教育勅語で中心的な徳目とされたもの。b「人権論」は福沢諭吉が主張した天賦人権論から引いている。

問 5 19 正解は③。

- ③ バイオテクノロジーに関する突っ込んだ問題が出題された。体細胞クローンを作成するため移植する核に、遺伝子組み換え技術を用いて有用な特徴を発現させる遺伝子を組み込めば、免疫拒絶反応のない人工臓器を安定的に供給できるようになると考えられている。
- ① 「男女の判別や産み分けはまだできない」が誤り。技術的に可能となったからこそ、倫理的な問題が生じている。
- ② たしかに世界的なヒトゲノム・プロジェクトによってヒト DNA の塩基配列の解読は完了しているが、遺伝子の働きが「すべて解明」されたわけではない。今後に残された研究課題である。
- ④ 「安全性や環境への影響を疑問視する声はなくなった」が誤り。遺伝子組み換え作物と在来種との交雑による遺伝子汚染は問題となっているし、日本では安全性への不安から栽培を条例で規制する地方自治体も多い。

第 4 問 日本経済分野 (配点 14)

問 1 20 正解は④。

- ④ 日本の雇用慣行の一つ、企業別労働組合について述べた正しい記述。
- ① 日本の企業は、金融機関から資金を借りて経営を行う、間接金融が中心である。なお、近年は直接金融の割合が増加している。
- ② 終身雇用制は、企業が労働者を定年まで雇用し続けることをいう。
- ③ 年功序列型賃金は、勤続年数に応じて賃金が増えていくことをいう。

問 2 21 正解は④。

- ④ 1999 年制定の地方分権一括法によって機関委任事務が廃止された。
- ① 憲法第 94 条の規定により、法律の規定に反する条例は制定できない。
- ② 地方債の発行にはかつては総務大臣または都道府県知事による許可が必要であったが、2006 年より許可制は廃止され、原則として協議制となった。
- ③ 三位一体の改革では、税源移譲では主に所得税から住民税への移譲などが行われたが、相続税は対象になっていない。

問 3 22 正解は③。

- ③ 有効需要の語で即座にケインズの学説と判断できる。「供給されたものは必ず需要されるとする考え」とはセーの法則を指し、ケインズによって否定された。
- ① マネタリズムをとなえた代表的人物としては、フリードマンがいる。ケインズの学説を批判した。
- ② 古典派経済学の学説。
- ④ アダム・スミスの学説である。

問 4 23 正解は②。

- ② 2000 年から実施されている介護保険では、介護サービスについて、1 割を利用者が負担し、残りの 9 割を公費と保険料で折半している。
- ① 国民年金は、かつては被用者年金に入れず自営業者、農林水産業従事者などを対象としていたが、1985 年から基礎年金制度として、全ての人が強制加入する基礎年金(1 階部分)となり、厚生年金、共済年金は 2 階部分になった。
- ③ 国民健康保険は農業従事者、自営業者などが加入する。
- ④ 労災保険は全額事業主が負担する。

問 5 24 正解は④。

- ④ 2009 年に行われた演説で、オバマ大統領のノーベル平和賞受賞理由となった。
- ① 「鉄のカーテン」演説を行ったのは、イギリス首相のチャーチルである。
- ② 部分的核実験禁止(停止)条約に、アメリカは調印している。
- ③ アメリカは軍事行動をとった。湾岸戦争のことである。

問 6 25 正解は①。

全会一致制は国際連盟の方式で、その失敗から国際連合の安全保障理事会では大国一致の方式をとっている。

第 5 問 日本・国際経済分野 (配点 18)

問 1 26 正解は④。

2 億ユーロについて、131 円のとくと 111 円のときの円換算を比較すればよい。

1 ユーロ = 131 円のとときは、 $2 \text{ 億} \times 131 = 262 \text{ 億円}$ 、

1 ユーロ = 111 円のとときは、 $2 \text{ 億} \times 111 = 222 \text{ 億円}$ となるので、

$262 \text{ 億円} - 222 \text{ 億円} = 40 \text{ 億円}$ の減少である。

問 2 27 正解は②。

選択肢はどれも難解で選択しにくく見える。

- ② EEC (欧州経済共同体) は, 1958 年設立。経済統合を進める中途段階であり, のちに EC (欧州共同体), EU (欧州連合) へと発展した。
- ① FTA (自由貿易協定) ではなく, FTA を包含する EPA (経済連携協定) についての記述。
- ③ 単一欧州議定書は, モノだけでなく, サービス・カネの移動も自由化させる内容である。
- ④ 固定相場制は, すでに 1970 年代に放棄されている。

問 3 28 正解は③。

国際収支表の一番のポイントは, 資本収支の出入りは経常収支とは逆であること。つまり対外投資は資金が出ていくので, 収支はマイナスになる。もう一つのポイントは, 経常収支内の所得収支は投資収益の受け取り所得であることである。近年では貿易収支よりも大きくなっている。対外投資は資本収支で出超であるとマイナス, その収益受け取りは経常収支の所得収支になり入超でプラスとなる。

- ③ 「投資収益などの所得の受払いによる資金の純流入」とは所得収支を示しており, 表を見ると黒字が継続している (プラスである) ことが分かる。
- ① 表中の期間, 貿易収支は黒字を続けているので誤り。
- ② 対外直接投資が「- 132」から「- 70」に減少していることは, 対外直接投資規模が縮小したことを示しているので誤り。
- ④ 対内証券投資は, 2007 年が「249」, 2008 年が「- 103」なので, 規模が縮小している。

問 4 29 正解は①。

円高不況対策として, 低金利政策を持続させた結果, バブルが発生した。

他は正文。

問 5 30 正解は③。

- ③ やや考えさせる問題であるが, 2009 年度に税金が急下降し, 国債発行の棒グラフとクロスしていることが分かれば難しくはない。
- ① 1990 年代には税金が減少傾向にあり, 国債発行額が増加傾向にあるため, 国債依存度は上昇している。
- ② 2000 年代前半は小泉純一郎内閣による改革のため公共事業が削減され, 国債発行は横ばいである。
- ④ 1990 年前後に赤字国債を発行しなかった年があるが, 建設国債は発行されている。

問 6 31 正解は③。

引受けは、証券会社または登録金融機関のみが行える業務で、有価証券の発行者または所有者からその有価証券を取得することである。知識として知っていた受験生は少ないだろうが、他は基本事項なので消去法で正答したい。

問 7 32 正解は④。

税負担の軽さが日本の特徴であることから B か D に絞り込み、消費税が 1989 年に 3%、1997 年に 5% になったことから、消費課税の比率が増加した D と判定する。

第 6 問 政治分野 (配点 18)

問 1 33 正解は③。

聞き慣れない自由の概念の区別に戸惑う難問。しかし設問文を熟読すれば 2 者を区別するキーワードがある。消極的自由は「他者による干渉の不在」であり、積極的自由は「自己支配、自己実現」などの語句である。

アは、前に「参加」の語があり、イは「介入」の語があることから判断し、ウは「相互に尊重し合う」は「干渉しない」ことで判断するとア、イ、ウが確定し必然的に③になる。ちなみに、エは分かりにくいところだが、集団内での民主的決定による目的追求の強制も、積極的自由(参加・実現)として正当化されるという意味であろう。ある集団内で消極的自由者のために何も決定できない事態よりは、積極的自由により参加し多数決定することが正しいとする考えであろう。このような倫理的発問はめずらしいが、「自然権思想」から現代の「基本的人権」にわたる人間の精神的側面とも政経は密接にかかわってくるのである。

問 2 34 正解は④。

社会契約説とは自然法思想と結び付いた為政者との契約を国家の起源とする一種の擬制・フィクションである。

- ④ 信託・財産・抵抗の語句が出てくれば、ロックと確定できる。
- ① 全体主義的であり契約の気配はない。
- ② 主権者に自然権を譲渡するというホッブズの社会契約説とは逆の内容。
- ③ 国家を人為的産物ではないとすることは、社会契約を否定する内容で誤り。

問 3 35 正解は②。

- ② 愛媛玉串料事件に関する正しい記述。
- ① 三菱樹脂事件では、最高裁判所は憲法を私人間に適用せず、経済的自由を優先し合憲判決を出したので誤り。
- ③ 憲法第 21 条 1 項の「表現の自由」の規定は、報道の自由を直接含んでいる。新しい人権「プライバシーの権利」は第 13 条「幸福追求権」などを根拠に主張されるものである。プライバシーの権利と報道の自由との衝突は、公人に対してはプライバシーを主張できないとされているが、私人に対する目に余る報道被害は問題になっている。
- ④ 学問の自由の中に「大学の自治」も含まれている。

問 4 36 正解は④。

A の文中の α は、「自由権」、 β は「社会権」を意味する。B の文中の α は、「国家からの自由」、 β は「国家への自由」といわれているもの。C の文中の α は、憲法に規定されている人権、 β は憲法に規定がない新しい人権の区分である。

アの β は憲法に規定なしの新しい人権。イは自由権と社会権。ウの α は国家の干渉からの自由で β は国家に請求するもの。

問 5 37 正解は②。

障害者の雇用義務は、民間企業にも法律で法定雇用率 1.8% 以上と義務化され、達しないときは納付金として 1 人あたり月額 5 万円を課している。他の文は正文。

問 6 38 正解は①。

厳格な三権分立をとるアメリカでは、大統領は下院の解散権を持っていない。なお、④のドイツは大統領制と議院内閣制の混合形態であるが、大統領の権限は極めて弱く、象徴的、儀礼的役割しかないため、議院内閣制に分類されている。

問 7 39 正解は②。

- ② 裁判所内部の運営に関し、規則制定権と司法行政権を最高裁判所に与えている。
- ① 憲法第 82 条 2 項に「裁判所が、裁判官の全員一致で、公の秩序又は善良の風俗を害する虞があると決した場合には、対審は、公開しないでこれを行ふことができる。但し、政治犯罪、出版に関する犯罪又はこの憲法第 3 章で保障する国民の権利が問題となつてゐる事件の対審は、常にこれを公開しなければならない。」とあり、刑事裁判を含めた裁判は、非公開を決定できる。
- ③ 国民審査の他に、弾劾裁判と分限裁判がある。
- ④ 非行のあった裁判官は、国会議員により国会に弾劾裁判所が開設されて裁かれる。憲法第 78 条に「裁判官の懲戒処分は、行政機関がこれを行ふことはできない」とあり、内閣が懲戒処分を行うことはできない。